

取扱説明書

リモート コントローラー RMC-2000

- リモート コントローラー RMC-2000 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前にかならず「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっていきます。内容をよく確認してから本文をお読みください。

| | |
|---|--|
|  | 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

■絵表示の例

| | |
|---|--|
|  | △記号は注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。 |
|  | ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
|  | ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は LAN ケーブルを抜く)が描かれています。 |

警告

- 本機のケース・裏パネル等をはずさない！
内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。
・改造などは絶対におこなわないでください。
・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を濡らさない！
火災・感電の原因となります。
・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。
・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。
・万一滴水などが中に入ったときには、すぐに LAN ケーブルを抜いて販売店にご相談ください。
- 本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！
万一滴水などが中に入ったときには、すぐに LAN ケーブルを抜いて販売店にご相談ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で LAN ケーブルを抜き差ししない！
感電の原因となることがあります。
- 雷が鳴り出したら使わない！
LAN ケーブルや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに LAN ケーブルを抜く！
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、LAN ケーブルを抜く！
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
販売店に修理をご依頼ください。
- 移動させる場合は、かならず LAN ケーブルを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！
ケーブルが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 長期間使用しないときは、LAN ケーブルを抜いて電源を切る！
火災の原因となることがあります。

安全上のご注意

| |
|---|
|  注意 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●本機の上にものを置かない！ バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●ケーブル類は正しく配線する！ <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルを熱器具に近づけないでください。 ・ケーブルを本機の下敷きにししないでください。 足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●設置場所にご注意ください！ <ul style="list-style-type: none"> ・不安定な場所に置かないでください。 ・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。 ・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。 ・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。 ・振動や衝撃の加わるところには置かないでください。 ・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。 ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。 |

■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、LAN ケーブルを抜いて電源を切ってからおこなってください。

| |
|---|
|  注意 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●内部の掃除について 内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●LAN コネクタの掃除をしてください LAN ケーブルを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●カバーは乾いた布で拭いてください 汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。このとき、液が内部に入らないように注意してください。 ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。 |

特長

- 本機は、次の機器に対応したリモート コントローラーです。
 - ・IP カメラビューワ ICV-400 / ICV-400-S1 / ICV-900 / ICV-901 / ICV-1600
(※本書では“IP カメラビューワ”と記載します)
 - ・ネットワーク ビデオ デコーダー NVD-2000 (※本書では“ビデオ デコーダー”と記載します)
- 各キーおよびジョイスティックを使用して制御対象機器の操作ができます。
- イーサネット経由で32台までの制御対象機器を操作できます。

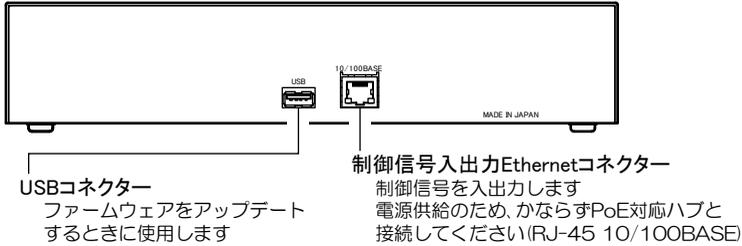
目次

| | |
|------------------|---|
| 各部の名称とはたらき | 3 |
| ■背面図 | 3 |
| ■上面図 | 3 |
| システム例 | 4 |
| 電源 ON/OFF | 4 |
| 通信の設定 | 5 |
| 操作方法 | 6 |
| ■選択モードと数値入力 | 6 |
| ■制御対象機器 No.の選択 | 6 |
| ■カメラ No.の選択 | 6 |
| ■プリセット No.の選択 | 6 |
| ■PTZ 選択(青枠の選択) | 6 |
| ■自動切換え | 7 |
| ■選択モードと画面/ページ切換え | 7 |

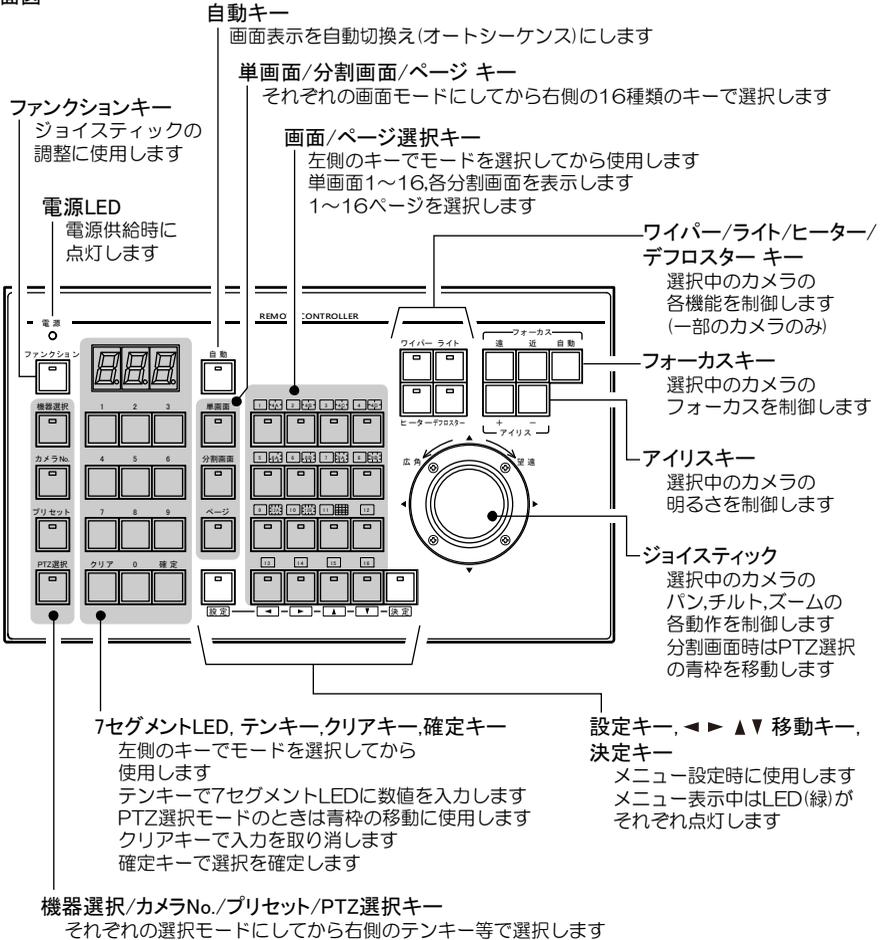
| | |
|--------------------|----|
| ■単画面の切換え | 7 |
| ■分割画面の切換え | 7 |
| ■ページの切換え | 7 |
| ■フォーカス制御 | 8 |
| ■アイリス制御 | 8 |
| ■その他のカメラ制御 | 8 |
| ■ジョイスティック制御 | 8 |
| ■メニューの操作 | 8 |
| ■設定キーの特殊操作 | 8 |
| ファームウェアのアップデート方法 | 9 |
| ジョイスティックのキャリブレーション | 9 |
| 製品仕様 | 10 |
| 修理を依頼されるときは… | 10 |
| 品質保証規定 | 10 |
| おことわり | 10 |

各部の名称とはたらき

■背面図



■上面図

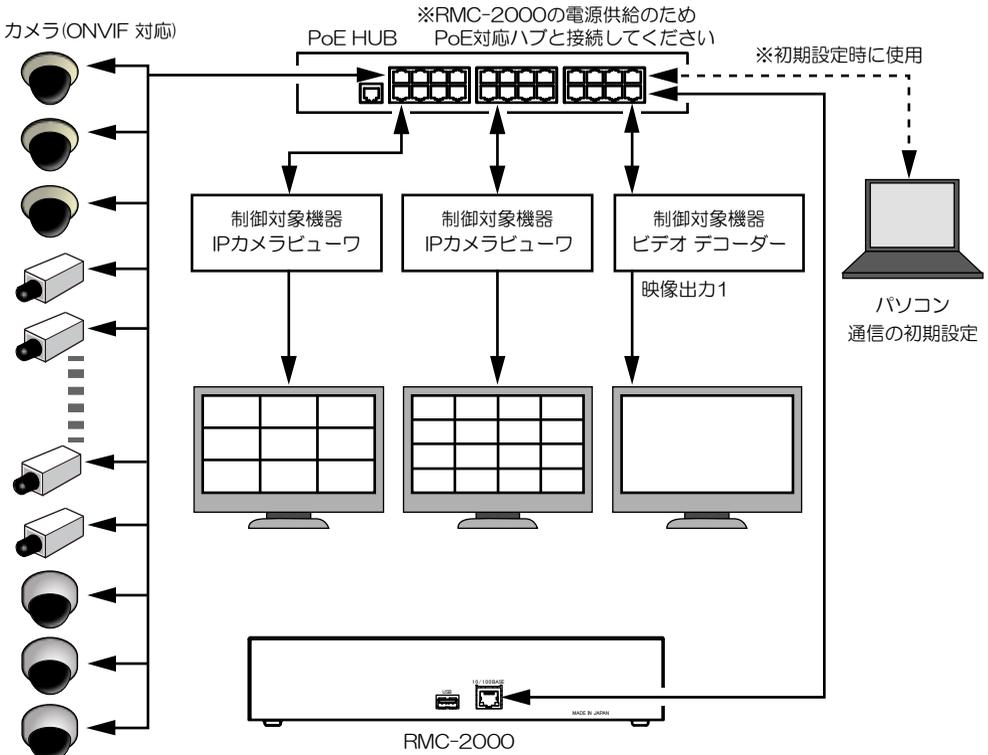


注意 ●ビデオ デコーダーの制御時は、各キーのLED(緑)は点灯しません。

●制御対象機器によって使わないキーがあります。6~8 ページ 操作方法 の各項目をご参照ください。

システム例

- 注意**
- LAN ケーブルはコネクタに確実に装着してください。装着が不安定な場合は故障の原因となります。
 - LAN ケーブルの不良品(ツメ折れ等)を装着しますと故障の原因となります。
 - RMC-2000 は制御対象機器用のリモコンです。RMC-2000 がカメラを直接操作することはありません。



電源 ON/OFF

- 電源は機器背面の制御信号入出力 Ethernet コネクタ(RJ-45)より LAN の信号に重畳して供給されます。LAN ケーブルを接続すると電源 ON となり、LAN ケーブルを抜くと電源 OFF となります。

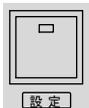
- 注意**
- 電源供給のため、かならず PoE 対応ハブと接続してください。
 - LAN ケーブルはコネクタに確実に装着してください。装着が不安定な場合は故障の原因となります。
 - LAN ケーブルの不良品(ツメ折れ等)を装着しますと故障の原因となります。

10/100BASE



- 電源が ON になると機器上面の電源 LED(緑)が点灯します。
- 設定キーを押しながら電源を ON にすると7セグメント LED に“F.S.”と表示されて各設定値が工場出荷時(下表)に戻ります。

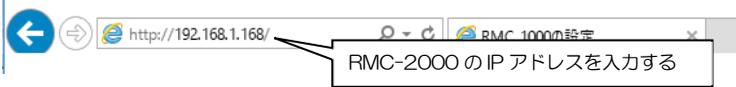
| | | |
|----------|-------------------------|---------------|
| ※工場出荷時設定 | IP アドレス | 192.168.1.168 |
| | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | デフォルトゲートウェイ | 192.168.1.2 |
| | 送信先 IP アドレス(機器 No.1~32) | 192.168.1.103 |



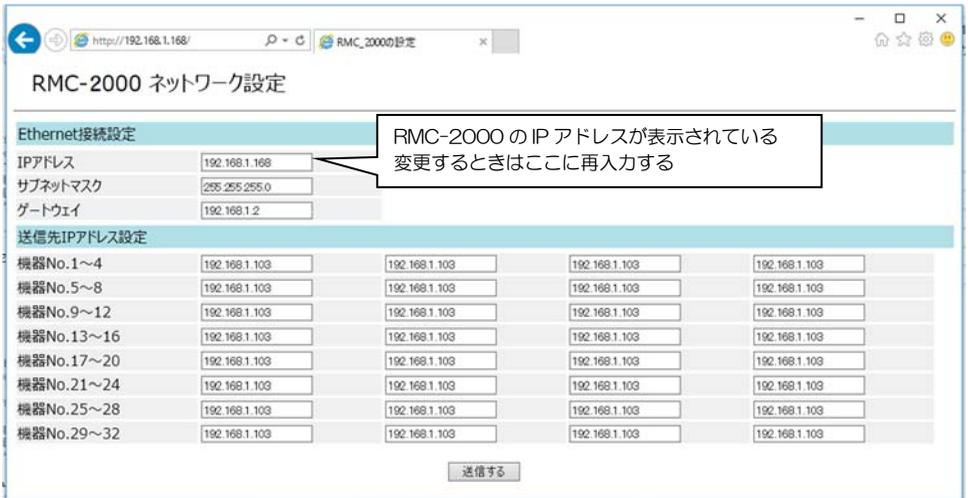
通信の設定

あらかじめ制御対象機器に機器 No.(スレーブ No.)をそれぞれ設定しておきます。合計 32 台まで設定できます。ネットワーク内にあるパソコンのブラウザを使用して通信を設定します。制御対象機器の“機器 No.”と IP アドレスの対応を RMC-2000 に登録します。
※通信を設定するときは、かならず RMC-2000 をネットワークに接続し、電源を ON にしてください。

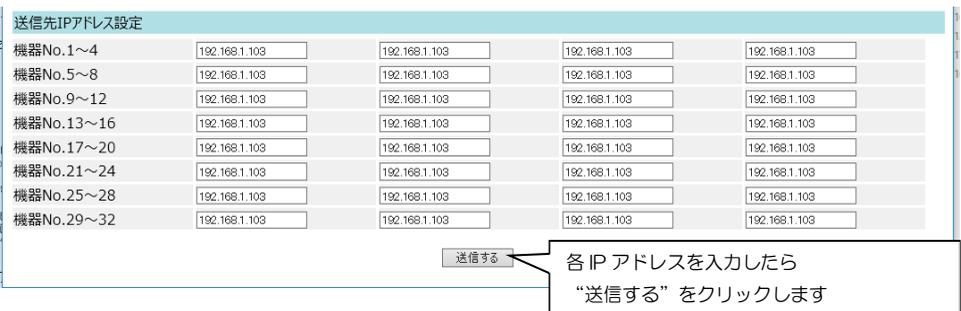
- ①ブラウザの URL に RMC-2000 の IP アドレスを入力します。
初めてご使用になるときは工場出荷時設定の 192.168.1.168 を入力してください。



- ②以下の設定画面が表示され、“Ethernet 接続設定”の“IP アドレス”に RMC-2000 のアドレスが表示されています。RMC-2000 の IP アドレスを変更するときは“IP アドレス”に変更したいアドレスを入力してください。



- ③“送信先 IP アドレス設定”に各機器 No.の制御対象機器の IP アドレスをそれぞれ入力して“送信する”をクリックします。
※使用しない機器 No.にも工場出荷時設定の 192.168.1.103 は入力したままにしてください。空欄があるとエラーになります。



- ④設定が成功すると“設定完了”のメッセージが表示されます。不適切な値が入力されていたり空欄があると“設定エラー”のメッセージが表示されますので、ブラウザの“戻る”ボタンで戻り、③の設定をやり直してください。

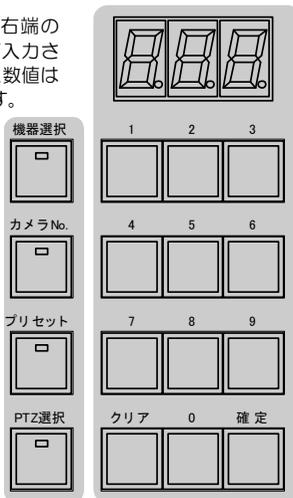
操作方法

■選択モードと数値入力

機器選択、カメラ No.、プリセット、PTZ 選択キーを押すと LED が点灯して、その選択モードになります。テンキーで 7 セグメント LED に数値を入力して接続します。

テンキーを押すと右側の 1 ケタ目に数値が入力され、先に入力された数値は順次左に送られます。

クリアキーですべての入力を取り消します。確定キーで入力内容が送信されます。



■制御対象機器 No.の選択

制御対象機器 No. (号機) を指定して接続します。機器選択モードにしてから、テンキーで機器 No. (001~032) を入力して、確定キーを押します。制御対象機器との接続待ち中は 7 セグメント LED が点滅し、接続完了すると点灯に変わります。



■カメラ No.の選択

制御対象機器に登録されたカメラ No. を選択するときに使用します。カメラ No. を選択するとその映像が単画面表示されます。



カメラ No. 選択モードにしてから、テンキーでカメラ No. を入力して、確定キーを押します。

- 注意**
- カメラ No. の数値の範囲は、制御対象の IP カメラビューワにより異なります。
 - ICV-900 を制御するときは、このキーを使用しません。
 - ビデオ デコーダーは、選択したカメラ No. の映像が映像出力 1 に表示されます。
 - IP カメラビューワは、分割画面を表示したままカメラを選択するときは
■PTZ 選択(青枠の選択) をご参照ください。

■プリセット No.の選択

選択中のカメラをプリセット位置に移動します。あらかじめ各カメラの設定でプリセット No. とカメラ位置を登録しておいてください。

プリセット選択モードにしてから、テンキーでプリセット No. (001~256) を入力して、確定キーを押します。



■PTZ 選択(青枠の選択)

接続中の IP カメラビューワが分割画面を表示しているときに青枠でカメラを選択します。青枠で選択されたカメラの操作ができます。



●テンキーで選択する

PTZ 選択モードにしてから、テンキーでチャンネルを入力して、確定キーを押すとその位置に青枠が表示されます。

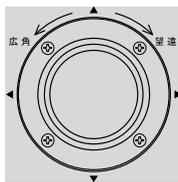
| | | | | | | | |
|---|---|----|----|----|----|---|---|
| 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | | 5 | 6 | 7 | 8 | | |
| | | 9 | 10 | 11 | 12 | | |
| 3 | 4 | 4 | 5 | 6 | | | |
| | | 13 | 14 | 15 | 16 | | |

分割画面のチャンネルの例

- 注意**
- チャンネルはカメラ No. ではありません。
 - チャンネルが正しくない場合は動作しません。(例：4 分割時に 005 以上を入力したときなど)
 - ビデオ デコーダーは映像出力 1 に固定選択されたカメラを制御するので PTZ 選択をしません。

●ジョイスティックで選択する

PTZ 選択モードにしてから、PTZ 選択キーを押しながら分割画面を見ながらジョイスティックを上下左右に倒すと青枠が移動します。



●選択を解除する(青枠を非表示)

設定キーを 2 回押します。



操作方法

■自動切換え

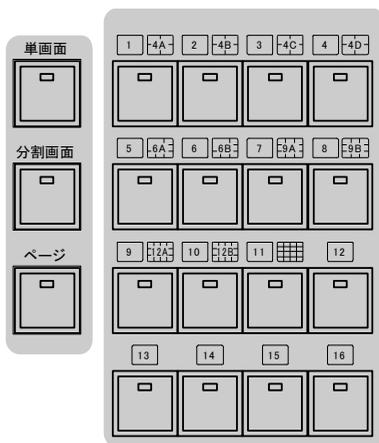
自動キーを押すと、接続中の IP カメラビューワが自動切換え(オートシーケンス)動作をします。



注意 ●ビデオ デコーダーを制御するときは、このキーは使用しません。

■選択モードと画面/ページ切換え

接続中の IP カメラビューワの表示を切換えます。単画面、分割画面、ページキーを押すと LED が点灯して、その選択モードになります。16 種類のキーで画面またはページを切換えます。



注意 ●ビデオ デコーダーを制御するときは、このキーは使用しません。

■単画面の切換え

接続中の IP カメラビューワの単画面を切換えます。単画面選択モードにしてから、**1** ~ **16** キーでチャンネルを選択します。



注意 ●あらかじめチャンネルにカメラを登録しておいてください。
●制御する IP カメラビューワによっては使用しないキーがあります。

■分割画面の切換え

接続中の IP カメラビューワの分割画面を切換えます。分割画面選択モードにしてから、**田** ~ **冊** キーでチャンネルを選択します。



注意 ●制御する IP カメラビューワによっては使用しないキーがあります。

■ページの切換え

接続中の IP カメラビューワのページを切換えます。ページ選択モードにしてから、**1** ~ **16** キーでページを選択します。



注意 ●あらかじめページにチャンネルを登録しておいてください。
●制御する IP カメラビューワによっては使用しないキーがあります。
●ビデオ デコーダーおよび ICV-900 を制御するときは、このキーは使用しません。

操作方法

項目共通の説明

このページの ■フォーカス制御 ■アイリス制御 ■その他のカメラ制御 ■ジョイスティック制御 は、選択中のカメラに対して有効になります。

選択中のカメラとは、次のとおりです。

- ・IPカメラビューワの単画面表示中のカメラ
- ・IPカメラビューワの分割画面時、青枠表示中のカメラ
- ・IPカメラビューワの分割画面時、青枠表示なしのときは最後に操作したカメラ
- ・ビデオデコーダーの映像出力1のカメラ

■フォーカス制御

選択中のカメラのフォーカスを制御します。



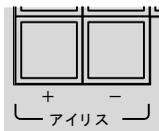
遠キーでピントを遠くに合わせ、近キーでピントを近くに合わせます。キーを押し続けている間変化し、キーを離すと停止します。

自動キーを押すとオートフォーカスをおこないます。

■アイリス制御

選択中のカメラ映像の明るさを制御します。

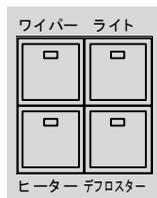
+キーで映像が明るくなり、-キーで暗くなります。



■その他のカメラ制御

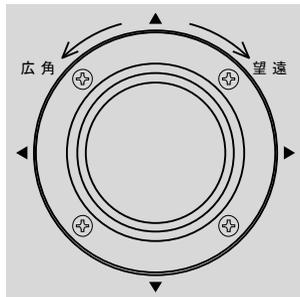
選択中のカメラに対して次の操作ができます。(一部のカメラのみ)

- ・ワイパーON/OFF
- ・ライトON/OFF
- ・ヒーターON/OFF
- ・デフロスターON/OFF



■ジョイスティック制御

選択中のカメラのパン、チルト、ズームの操作をします。

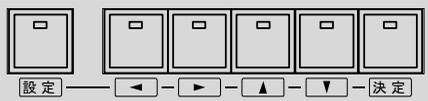


◀、▶方向に倒すとパンの動作をします。
▲、▼方向に倒すとチルトの動作をします。
広角、望遠の方向に回転させるとズームの動作をします。

分割画面表示中はPTZ選択キーを押しながら上下左右方向に倒すと、青枠を移動します。



■メニューの操作



●メニュー表示/終了

設定キーを押すと、メニューが表示されます。メニューを表示中に押すと前のメニューに戻り、メインメニューで押すと設定を保存してメニューを終了します。

●項目の選択、決定

メニュー表示中、◀、▶、▲、▼キーで選択項目の移動および設定値を変更します。決定キーで選択項目や設定値を決定します。

■設定キーの特殊操作

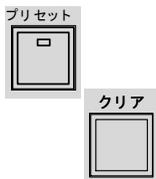
設定キーを押しながら電源をONにすると7セグメントLEDに“F.S.”と表示されて、各設定値が工場出荷時に戻ります。

ファームウェアのアップデート方法

最新ファームウェアのバージョン確認,入手についてはアルテックスまでお問い合わせください。

<https://www.n-artics.co.jp/contact/>

- ①プリセットキーとクリアキーを同時に押しながら電源を ON にします。



- ②7セグメントLEDに“U.P.”と表示されます。

- ③アップデート ファイルが入っているUSBメモリを背面のUSBコネクタに挿入します。



- ④約10秒後に7セグメントLEDに“GO”と表示されてアップデートが正常に終了し、RMC-2000は自動的に再起動します。

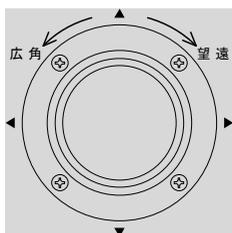
注意

- アップデート ファイルのファイル名は“RMC-2000_UPDATE.bin”とし、USBメモリのルートディレクトリに保存してください。
- アップデートに失敗した場合は7セグメントLEDに“E1”と表示されます。ファイル名,保存場所等を確認し、手順①からやり直してください。
- USBメモリのファイルシステムはFAT32をご

ジョイスティックのキャリブレーション

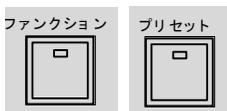
ジョイスティックは、工場出荷時に適正に調整されています。

ご使用中に調整のズレ等を感じられるときにはキャリブレーションをおこなってください。



■キャリブレーション手順

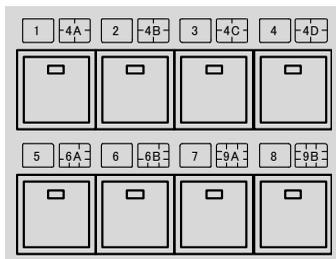
- ①ファンクションキーとプリセットキーを同時に押しながら電源を ON にします。



ジョイスティックのキャリブレーション

- ②7セグメントLEDに“C.S.”と表示されます。

- ③ **1** キーのLEDが点滅します。



- ④ニュートラルの位置を設定します。ジョイスティックに触れずに **1** キーを押します。

- 1** キーのLEDが点灯し、**2** キーのLEDが点滅します。

- ⑤パンの左方向の最大値を設定します。ジョイスティックを左端まで倒した状態で **2** キーを押します。

- 2** キーのLEDが点灯し、**3** キーのLEDが点滅します。

- ⑥パンの右方向の最大値を設定します。ジョイスティックを右端まで倒した状態で **3** キーを押します。

- 3** キーのLEDが点灯し、**4** キーのLEDが点滅します。

- ⑦チルトの上方向の最大値を設定します。ジョイスティックを上端まで倒した状態で **4** キーを押します。

- 4** キーのLEDが点灯し、**5** キーのLEDが点滅します。

- ⑧チルトの下方向の最大値を設定します。ジョイスティックを下端まで倒した状態で **5** キーを押します。

- 5** キーのLEDが点灯し、**6** キーのLEDが点滅します。

- ⑨ズームの広角の最大値を設定します。ジョイスティックを左端までひねった状態で **6** キーを押します。

- 6** キーのLEDが点灯し、**7** キーのLEDが点滅します。

- ⑩ズームの望遠の最大値を設定します。ジョイスティックを右端までひねった状態で **7** キーを押します。

- 7** キーのLEDが点灯します。

以上でキャリブレーションが終了し、RMC-2000は自動的に再起動します。

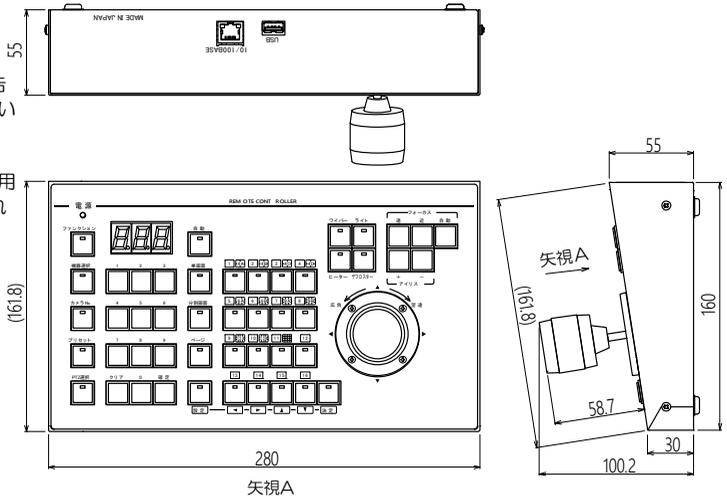
製品仕様

- 制御対象機器 IP カメラビューワ ICV-400 / ICV-400-S1 / ICV-900 / ICV-901 / ICV-1600
ネットワーク ビデオ デコーダー NVD-2000
合計 32 台まで
- インターフェイス RJ-45 1 系統 PoE 対応 (Ethernet 10/100BASE)
USB 1 系統
- キー機能 機器選択、画面表示切換え、カメラ選択、プリセット選択、フォーカス/アイリス制御、他
- ジョイスティック機能 バン、チルト、ズーム、カメラ選択
- デジタル表示 7セグメントLED3桁 機器番号、カメラ番号、プリセット番号、チャンネル
- 電源電圧 PoE (DC36V-57V) 約 1.9W
- 外形寸法 280(W)×160(D)×55(H) ジョイスティック含む高さ 101(H) (他の突起部は除く)
- 質量 約 1.6kg

●外觀図

※仕様および外觀は、改良
その他の理由により、予告
なく変更する場合がございます。

※本機は日本国内のみの使用
に基づいて設計・製造され
ています。



修理を依頼される時は…

- 本機が正常に動作しないときは「システム例」をもう一度ご覧いただき、環境および動作をご確認ください。それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 修理をお申し付けいただくときは、品名と症状を詳細にお知らせください。
品名: リモート コントローラー RMC-2000

品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より1年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

おことわり

本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や、人身事故、および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書

| | | | |
|------------------------|---|----------------|-----|
| 品名：RMC-2000 | 本体裏シールの SER.No. (製造番号) をご記入ください No . | | |
| お客様名： ご住所 〒 TEL: | 様 | 取扱販売店名・住所・電話番号 | |
| 保証期間 | お買い上げ日 年 月 日より | | 1年間 |

Artics

株式会社 アルテックス

住 所 神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1

営業部ダイヤルイン 042(742)2110

F A X 042(742)3631

E - M A I L info@n-artics.co.jp

U R L https://www.n-artics.co.jp

